

境港ニュース



発行 境港貿易振興会

〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3 TEL (0859) 47-3905 / FAX (0859) 47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp URL https://www.sakaiminato-faz.co.jp/

～令和6年度 境港利用助成制度のご案内～

境港に就航している国際定期コンテナ航路を利用して輸出入を行った荷主の方を対象とする、境港利用助成制度を今年度も引き続き実施いたします。また、今年度より**利用拡大の申請条件緩和**や**新たな加算(陸送費・中国向け)**など制度内容を大幅に拡充しておりますので、ぜひご利用ください!!

改正
ポイント



- ❗ **対象航路の拡大**
境港の国際定期航路全てが対象
- ❗ **リーファー利用** ▶ 助成
- ❗ **だれでも陸送費** ▶ 加算 新規・利用拡大
- ❗ **利用拡大 申請条件 緩和**
- ❗ **中国向け貨物** ▶ 加算 新規・利用拡大



<制度の概要>

境港利用開始前に助成事業計画書(2024年4月1日～2025年3月31日までの利用見込み)の提出をお願いします。

<p>新規利用</p> <p>過去に境港利用助成制度の利用のない荷主 ※小口混載は除く</p> <p>助成金額 2万円/TEU</p> <p>上限額 50万円/年度</p>	<p>利用拡大</p> <p>過去3年間の平均と比較して増加した荷主 ※過去3年で利用実績のない年度は平均値の計算対象に含めない</p> <p>助成金額 1万円/TEU</p> <p>上限額 200万円/年度</p>	<p>リーファー</p> <p>リーファーコンテナを利用した荷主 ※前年度リーファー実績からの増加分</p> <p>助成金額 2万円/TEU</p> <p>上限額 200万円/年度</p>	<p>小口混載</p> <p>小口混載貨物(LCL)を利用した荷主</p> <p>助成金額 直行便 1千円/1t・m 積替便 4千円/1t・m</p> <p>上限額 直行便 10万円/年度 積替便 20万円/年度</p>
<p>陸送費(加算) NEW</p> <p>5千円/TEU 上限額 12万5千円/年度(新規) 100万円/年度(利用拡大)</p>		<p>リーファーは 新規、利用拡大 と併用可能です!</p> <p>例えば 初めて境港を利用し、釜山に40FT(リーファー利用)輸出する場合 ※40FT=2TEU</p> <p>★(新規) 20,000円×2TEU=40,000円 ★(陸送) 5,000円×2TEU=10,000円 ★(リーファー) 20,000円×2TEU=40,000円</p> <p>助成金額 90,000円</p>	
<p>中国向け貨物(加算) NEW</p> <p>5千円/TEU 上限額 12万5千円/年度(新規) 100万円/年度(利用拡大)</p>			

★ 加算(陸送・中国向け)は新規・利用拡大の各条件を満たす必要があります

●計画書の提出、受領をもって助成金の支給を確定するものではありません。助成金交付申請が別途必要です。

注意：当会が実施しております境港利用助成制度は、予算の範囲内での助成となります。

予算状況によりましては、ご申請をいただいてもお受けできない場合もございますので、予めご了承ください。

境港利用助成制度の詳細については、当会のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.sakaiminato-faz.co.jp/> ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先



さかいこう ぼう えき しん こう かい
境港貿易振興会



0859-47-3905



境港のコンテナ航路を利用したトライアル輸送の取扱を支援します!!

新規利用荷主や過去1年以内に境港利用がない新たな品目の輸出入を開始する荷主の方を対象に、韓国航路や国際フィーダー航路など境港のコンテナ航路を利用したトライアル輸送への支援を行います。

まずは境港の利便性を おためしください!

Co2削減

国内陸送距離削減

環境負荷低減トライアル助成

事前申請必要



対象期間

補助金交付決定の日から
2025年3月31日

対象事業者

- ・新規荷主
- ・過去1年以内に境港利用がない新たな品目の輸出入を開始する荷主 (外貿航路・国際フィーダー航路)

対象経費

物流ルート構築のための計画策定、輸送品質の確認・検証調査、トライアル輸送にかかる経費(国内陸送費、梱包・保管料、通関、港湾荷役料、海上運賃等)

補助率 2分の1

補助限度額 50万円/社

例えば

他港利用からの転換

新しい商材での境港利用

トライアル助成の詳細については下記までお問合せください!! 境港利用を一度、おためしください!!

問い合わせ先



さかいこう ぼう えき しん こう かい
境港貿易振興会



0859-47-3905



境港利用促進セミナー【松江会場】を開催しました



日時 6月17日(月) 15:00~16:30
場所 ホテル白鳥(松江市千鳥町20)
※出雲会場は中止

境港を多くの皆さまに知っていただき、利用に繋がるよう当会では利用促進セミナーを毎年開催しております。今回は、物流2024年問題への関心も高まる中、地元である松江市において開催し当日は約50名の方にご参加いただきました。セミナー概要は以下のとおりです。

実例紹介

「境港利用実例紹介」

菱南電装株式会社
出雲工場 業務課
課長 吾郷 茂氏

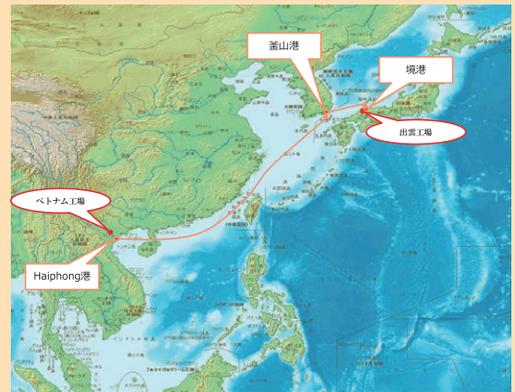


<吾郷課長>

主なポイント

- これまでは神戸港を利用して輸入を行っていたが、物流2024年問題やカーボンニュートラルへの対応として、昨年度から出雲工場の最寄りである境港からの輸入を開始。
- 工場までのリードタイムは、境港利用と神戸港利用とでは大差がなく、むしろトータルコストにおいては、国内陸送費が圧縮されたため、境港利用の方が安くなった。
- また、国内陸送距離が短縮されたことに伴い、年間3.8tのCO2排出量の削減を達成し、カーボンニュートラルへの貢献にもつながった。

Haiphong港⇒釜山港⇒境港⇒出雲工場



境港利用後の輸入経路

<発表資料一部抜粋>



<岩下専務理事>



<伊牟課長>

そのほか、岩下専務理事(境港管理組合事務局長)より境港概況や助成制度の説明を行ったほか、貨客船航路の紹介として今年8月に就航予定される日韓フェリー航路の概要についてイースタンクルーズ&フェリー株式会社の伊牟課長が紹介しました。セミナー終了後、参加者同士で名刺交換会を行い、情報交換や交流を深めていただきました。

境港貿易振興会は、利用促進セミナー開催や物流展示会への出展を通じて境港の情報発信を行い、さらに多くの方に利用していただけるよう関係機関と連携しながら、利用促進活動に取り組んで参ります。

令和6年度 通常総会を開催しました

6月25日(火)、夢みなとタワーにおいて役員、会員並びに顧問約30名の方々にご出席いただく中、境港貿易振興会(会長 伊達憲太郎境港市市長)の通常総会を開催いたしました。



<総会の様子>

伊達会長は挨拶の中で、境港のコンテナ貨物取扱量が昨年より増加となったことや、今年8月に韓国東海港と境港を結ぶ環日本海定期貨客船航路が5年ぶりに再開されることを報告。また、物流2024年問題、カーボンニュートラル、モーダルシフト等への対応が本格化しており、最寄りの境港利用に関する問合せや、具体的な物流ルートの変換も増加していることも説明。当会としても、このような流れを大きな機会ととらえ、各航路の定着・利用拡大につなげていくなど、関係機関の皆さまと一丸となって境港の利用促進に取り組み、地域経済の活性化を牽引していくことへの協力と支援を呼びかけました。

会長挨拶に続き、令和5年度実施事業及び収支決算報告、令和6年度事業計画及び収支予算等についての議案の審議が行われ、大幅に拡充された利用助成制度なども活用し、積極的な利用促進に取り組む今年度事業計画等全ての議案について承認されました。

イースタンドリーム号 正式就航に向け試験運航を実施!!

境港と韓国・東海^{トン}を結ぶ環日本海定期貨客船航路の本格就航に向けた試験運航のため、5月26日(日)午前9時頃、**イースタンドリーム号**(船社:トゥウォン商船、イ・ソッキ社長)が、韓国の船会社や旅行会社の関係者などからなる訪問団約40名を乗せて境港に入港しました。

環日本海定期貨客船航路では、イースタンドリーム号の外航竹内南岸壁への接岸が予定されていることから、旅客の乗降タラップを含めた接岸位置、貨物の荷役を行うランプウェイの設置確認、CIQ手続きを含む旅客動線の確認作業などが行われました。

また、翌27日(月)には、再開される航路の人とモノの両面での活用に向けた協議を行うため、行政機関で構成された訪韓団(10人)を乗せ、午後6時頃、東海に向けて境港を出港しました。

出航日当日は風が強く、船が大きく揺れるのではないかと心配していましたが、揺れを感じることは少なく、また船内のバーやカラオケなどのエンターテインメントのおかげで快適な時間を過ごすことができました。

約15時間の海の旅を経て、28日(火)の午前9時頃、到着した東海港では、東海市関係者や現地のマスコミ関係者など約50名が集まり、東海港での地元関係者による歓迎セレモニー、美しい渓谷や景観が広がる「**武陵溪谷**」の視察、東海市長主催の昼食会など熱烈的な歓迎が行われた後、訪韓団は通商班と交流・観光班の2班に分かれて行動しました。

そのうち通商班の8名は、本航路の利活用の可能性を探るため、東海市から北西に約1時間の位置にある江陵市の「**ロッテ七星飲料(株)江陵工場**」を視察しました。同工場ではアルカリ還元水を使った焼酎を製造しており、若い世代を中心に人気を博し、日本への輸出も行われているとのこと。

本格就航により、韓国がこれまで以上に身近な存在になると思います。当振興会としましても、この「海の道」を維持していくため、貨物の確保により一層努めていきたいと思っております。



ランプウェイ(イースタンドリーム号)



船内のバーの様子(イースタンドリーム号)



武陵溪谷(東海市)



ロッテ七星飲料(株)江陵工場(江陵市)

境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

(2024年6月現在)



当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。<https://www.sakaiminato-faz.co.jp/>

具体的な見積り等についてのお問い合わせ先 ～通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業～

企業名	業務	連絡先
NX境港海陸 株式会社 (高麗海運(株)・長錦商船(株)・南星海運(株)・OOCL 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-44-1652 https://nxsakaiminato-kairiku.com
株式会社 上組 大阪支店 境港出張所 (興亜LINE(株) 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-45-8707 http://www.kamigumi.co.jp/
株式会社 ニューウェーブ インターナショナル	貨物集荷代理店	TEL 0859-38-1150 http://www.new-wave-int.jp/
株式会社マブチ 第一事業本部 鳥取工場	輸出梱包 大型貨物梱包 (出張サービス可)	TEL 0859-39-6300 http://www.k-mabuchi.co.jp/
ヤマト運輸株式会社 山陰パッキングセンター	輸出梱包 大型梱包 運送	TEL 0859-21-7331 http://www.kuronekoyamato.co.jp/

関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

機関名	主な業務	連絡先
境港貿易振興会	ポートセールス (利用助成制度)	TEL 0859-47-3905
境港管理組合	港湾施設管理	TEL 0859-42-3705
とっとり国際ビジネスセンター (公財)しまね産業振興財団	貿易サポート	TEL 0859-30-3161 TEL 0852-22-6193
ジェトロ鳥取貿易情報センター	国際ビジネス情報の 提供・相談・企業支援	TEL 0857-52-4335
ジェトロ島根貿易情報センター		TEL 0852-27-3121